



手づくりの温もりを 和雑貨に込めてお届け



社長の山口雅也さん

ものづくりを支える 高度な内職ネットワーク

ちり緬や金らんなど様々な素材をデザインし貼り合わせた、手づくりのオリジナル和雑貨を提供している。近年、お客様である和雑貨メーカーなどから、商品に対する再現性や品質に対するニーズが厳しくなる中、京都市内や綾部市内で40軒以上の内職(委託加工者)とのネットワークを広げ、その技術を高めることに努めてきた。

例えば、金らんは一度ハサミを入れると、そこから糸がほつれてしまうことが



ジェイハンス株式会社

代表者/山口 雅也
住 所/京都市下京区中堂寺庄ノ内町 45-9
T E L / 075-311-3521
<http://www.jhands.co.jp>
事業内容/オリジナル和雑貨の製造卸、
Web ショップでの和雑貨の小売販売等

ある。素材の処理、折り方、糊のつけ方、また特に複雑な工程を経る作業では、手間はかかるが一つひとつ仕様書を作成し、加工手順や規格を明らかにして仕上がりには大きなばらつきが出ないよう工夫している。

「内職さんに気持ち良く仕事をしてもらいたい」と山口さん。今でも週に二度、こまめに内職のもとを訪ね、顔を見ながら作業の進捗状況や割り振りを確認するようにしている。仕事以外

の話にも時間をかけて耳を傾けるとい
う。こうした信頼関係の構築が、ものづ
くりのモチベーションにつながり、商品
の品質を支える基盤となっている。

お客様のブランド価値を 具体的な「形」にして提案

和雑貨市場が縮小する中、同社では
これまで培ってきた「貼りもの」技術
を使って、お客様のブランド価値を高
めていこうと考えている。ある手ぬぐ
いメーカーには、手ぬぐいそのもので
はなく、生地が持つ素材感やデザイン
の魅力を生かした、パスケースや丸手
鏡など各種アイテムの提案を行った。
そのメーカーやショップが展開する
品揃えのコンセプト、ターゲットとす
る客層にぴたりと合った、値ごろ感の
ある入口商品を増やすことで、手ぬぐ
いに関心のなかった若い世代も足を
運んでくれるようになったという。

インターネット通販にも力を注い
ている。直接販売する機会を広げるこ
とで、「エンドユーザーがどんな気持
ちで商品を買ってくれるのか分かる
ようになった」。ただ単に品質や技術
が優れたものではなく、心地良さや柔
しさ、日常の中にもなごみや心の豊
かさを与えてくれる商品を開発して
ファンを拡大している。



「あたらしきもの京都」アドバイザーとの面談



手作業で一つひとつ丁寧に作る



彩りが美しい和雑貨



知恵
のポイント

解説!!!

★ Point.1 加工技術の育成と承継

内職(委託加工者)へのこまめな巡回で、作業の進捗状況やその時々
の家庭事情などを的確に把握。それぞれの能力に応じた無理のない仕事
を安定的に提供することで、加工技術の育成と承継につなげる。

★ Point.2 提案型のOEM商品を開発

最先端のライフスタイルショップなどを定期的に巡り、市場のトレンド
やニーズを吸収。言われた商品を規格どおりに作るだけでなく、お客
様のブランド価値を高めるプラスαの提案で販路を開拓。

★ Point.3 「あったら便利」を形に

得意とする貼りもの技術を使って、お薬手帳や診察券などを収納でき
るカードケースを開発。市場に埋もれた「こんな商品があれば…」とい
う声に耳を傾け、世の中になかったオリジナル商品を提供。

応援
します!

経営革新・知恵の経営に取り組む企業のご相談にお応えします。
【相談無料】TEL.075-212-6470
中小企業経営支援センター知恵産業推進室

アウトプットを意識した 商品開発で 新たな市場を開拓

今年度、京商が取り組む国内販路
開拓支援事業「あたらしきもの京都」
に初めて参加。外部デザイナーのア
イデアを取り入れながら、ギフト市
場への展開を見据えた新たな商品開
発を進めている。「OEMという私た
ちの事業の柱を大切にしながら、よ

りお客様に近いフィールドでもの
づくりができれば」と山口さん。「知
恵の経営」報告書の作成を通して、
さらなる成長・発展に向けて目指す
べきビジョンが見えてきたという。
手づくりの温もりを一品一品に
込めて…。和雑貨へのひたむきな思
いを胸に、ジェイ・ハンズは大きな舞
台へと歩みを始めている。